



# 日本聖公会東京教区 聖アンデレ教会

主教 フランシスコ・ザビエル 高橋宏幸 牧師 司祭 ステパノ 卓志雄  
〒105-0011 東京都港区芝公園 3-6-18  
電話 03-3431-2822 FAX 03-3434-5698 電話礼拝 03-3431-0250  
E-mail:st-andrew.tko@nssk.org HP:www.st-andrew-tokyo.com

## 復活日 (白) 2026年4月5日

### 礼拝案内

† 午前7時30分 聖餐式 (午前7時25分 礼拝奉仕者の祈りの集い) 司式：司祭 卓志雄 説教：司祭 卓志雄 聖歌 160 170 184	感謝聖別(Ⅱ) 20頁(176頁) 陪餐 24頁(180頁) 陪餐聖歌 179 感謝 28頁(182頁) 祝福 28頁(183頁) 派遣 退堂聖歌 184
† 午前10時30分 聖餐式 (午前10時10分 礼拝奉仕者祈りの集い) 司式：司祭 卓志雄	† 午後1時30分 こどもとともにささげるイースター礼拝 司式・お話：司祭 卓志雄 聖歌 160 159 167
入堂聖歌 160 参入 1頁(162頁) 清めの祈り 1頁(162頁) キリエ 3頁(163頁) 大栄光の歌 4頁(164頁) 特祷(復活日)	† 午後5時 夕の礼拝 司式：信徒奉事者 聖歌 162 詩 113,114 出 12:1-14 ルカ 24:13-35
み言葉 第一朗読 使徒言行録 10章 34-43節 詩編 第118編 1-2,14-24節 第二朗読 コロサイの信徒への手紙 3章 1-4節	<b>1分典礼(礼拝Q&amp;A) ③④</b> 【なぜイースターは毎年日付が変わるのですか?どのよう に決められているのですか?】 復活日の日付は、西暦325年のニケア(ニカイア)公会議 において、「太陽暦の基準である春分(教会暦では3月21日) 以降の満月の次に来る日曜日」と定められました。なお、満 月が日曜日に当たる場合は、その翌週の日曜日とされま す。このため、復活日の日付は毎年変わります。また、西 方教会(カトリック・プロテスタント)はグレゴリオ暦を用 い、東方教会(正教会)はユリウス暦を用いるため、同じ 年であっても復活日の日付が異なる場合があります。この ような理由から、復活日は毎年3月22日から4月25日の 間のいずれかの日曜日に祝われます。2026年は、春分 の後に訪れる最初の満月が4月2日であり、その次の日曜 日が4月5日に当たるため、復活日(イースター)は4月5 日となります。
福音書前聖歌 181 福音書 マタイによる福音書 28章 1-10節 説教：司祭 卓志雄	
洗礼式聖歌 (前)274(1,2,3)/(後)274(4,5) 洗礼式 別冊『入信の式』 代祷(週報2面) 12頁(168頁) 懺悔 13頁(170頁)	
聖餐 平和の挨拶 15頁(171頁)	
奉献聖歌 170 奉献 15頁(172頁)	

## 本日の代祷 <敬称略>

一同着席する。

執事は次のように言う。司祭または会衆の代表者が言ってもよい。

執事 救い主イエス・キリストのみ言葉とみ業に頼り、全公会のため、また世界のために祈りましょう  
※ ( ) 内の斜体は音読しなくてもよい。

<わたしたち教会・全公会のため>

代祷者 神よ、主の公会、ことに

[聖アンデレ教会

(ステパノ 卓志雄司祭、トマス日高馨輔執事)]

わたしたち教会の宣教・奉仕の働き、

教会に関わる諸団体

[東京教区(フランシスコ・ザビエル高橋宏幸主教)]

東京聖マリア教会、

正義と平和協議会と加盟する諸団体

[東日本宣教協働区

(北海道・東北・北関東・東京教区)]

主教ヨハネ大久保直彦 逝去記念日 4月10日

(1983年)、

川越基督教会聖堂聖別記念日 4月10日

(1921年)、

大宮聖愛教会 宣教開始記念日 4月11日

(1899年)

[日本聖公会(首座主教ダビデ上原榮正主教)]

主の復活を覚えて建てられたすべての教会・事業

[エルサレムおよび中東聖公会

(ホサム・ナウム大主教)]

ゼルカ

救主教会

[全世界の聖公会]

メキシコ聖公会

[日本キリスト教協議会(NCC)の働き]

NCCのすべての働き

を強めて、み子のみ業を行わせてください。

すべての聖職と信徒、ことに私たちの主教

フランシスコ・ザビエル

を導き、み名を呼ぶ者を主の真理と愛のうちに

一致させ日々主の栄光をこの世に現す者とならせ

てください

会衆 主よ、お聞きください

<平和と正義の実現のため>

代祷者 神よ、すべての国の人びと、ことに、

ウクライナや中東、またイランに対するアメリカとイスラエルの攻撃によって混乱のただなかにある地

域の人びと、ことにそれらの指導的立場の人びとに知恵を与えて正義と平和の道に導いてください。互いに尊敬する心を与え、ともにすべての人の幸いを求めさせてください

会衆 主よ、お聞きください

<隣り人のため>

代祷者 神よ、わたしたちと家族、すべての友人と隣り人、ことに、

本日、洗礼を受けられた方、日々を共に暮らし、また離れて暮らすそれぞれの家族、友人、同僚、心にかけている人びと、聖アンデレ教会に連なるすべての人びと、ボーイスカウト東京港第14団、ガールスカウト東京都第138団、入信を希望している人びと、洗礼、堅信、初陪餐、結婚の準備をしている人びと、さまざまな理由によって教会から離れている人びと、この地域で生活し、働いている人びと、生命(いのち)の問題、困難な人びとを支える働きに関わる人びと、

4月の代祷・信施奉獻先となっている働き・団体、ことに、エルサレム教区(全聖公会決議)、児童養護施設((社福)エリザベスサンダースホーム、(社福)福光会児童養護施設子どもの園)、月島聖ルカ保育園((社福)ひかりの子)、神学校((総会決議)聖公会神学院、ウィリアムス神学館)

に恵みを与え、ともに主を知り、主に仕え、互いに愛することができるようにしてください

会衆 主よ、お聞きください

<困難な状況にある人のため>

代祷者 神よ、悩む人、悲しむ人、病気の人、貧しい人、その他災いの中にある人びと、ことに感染症の収束のため

[病床にある人・自宅療養中の人・別紙参照]

世界各地の震災の被災者

世界各地の自然災害の被害のため困難な状況に

ある人びと、住む場所を追われた人びと、

自由を奪われ拘束されている人びと、戦争や暴力、

犯罪や差別に苦しむ人びと

を顧み、み力を与えて、勇気と希望を増し加え、

主の救いの喜びに導いてください

会衆 主よ、お聞きください

<逝去者のため>

代祷者 神よ、世を去ったすべての人、それぞれが  
覚える逝去者

[今週逝去の記念日を迎える人(=別紙参照)]

暴力や犯罪、災害の犠牲となった人

を顧み、彼らの上に主の愛のみ旨を成し遂げてくだ

さい。わたしたちは、世々に主の証人たちに与えら

れた主の恵みのゆえに、み名をたたえます。どうか、

わたしたちも、彼らとの交わりを保ち、ともにみ国

の栄光にあずからせてください

一同 主よ、これらのことをみ子イエス・キリスト

によってお願いいたします アーメン



### ◇ チャリティー落語会 アンデレ寄席

2026年5月16日(土) 17時～

聖アンデレ教会聖堂にて

### ◇ チャリティーコンサート

#### 第23回教会にJAZZが来た!

2026年7月11日(土) 17時～

聖アンデレ教会聖堂にて

いずれも、チケットは好評発売中です。

詳細はチラシをご覧ください。

皆さま お誘いあわせの上、ぜひご来場ください

ご家族・少人数での記念式や礼拝参加、牧会訪問、自宅や病床での陪餐を希望される方は、教会までご遠慮なくご連絡をください。

### 「聖書朗読(旧約聖書、使徒書)」を 分担しませんか

み言葉を皆さんの前で声を出して読むことは、素晴らしい恵みです。ご自分の受洗や堅信の記念日、誕生日、結婚記念日、ご家族の逝去記念日などを迎える主日に是非ご奉仕ください。ご希望の方は、聖堂受付付近の表にお名前をご記入ください。

## <お知らせ>

◇ 本日 10時半の聖餐式中、洗礼式が行われます。また、この春入学・卒業をされた方々の感謝の祈りを捧げます。

◇ 本日 イースター愛餐会があります。

◇ 『こどもとともにささげるイースター礼拝』は午後1時半からです。

礼拝後エッグハンティングもあります。

◇ 4月より、聖アンデレ教会の第2主日 10時半の聖餐式は、毎月、武藤謙一主教(聖公会神学院校長)が司式・説教をして下さいます。卓志雄司祭は聖ミカエル教会で司式・説教をされます。

◇ 「礼拝奉仕・諸活動グループに関するアンケート③のお願い」を郵送いたしました。どうぞご確認ください。アンケートの締め切りは2026年4月26日(日)です。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

◇ 4月6日(月)～24日(金)、西側崖地の法面整備(伐採および土留め工事)が行われます。

◇ 【聖書を学ぶ会】毎月第1水曜日 13時30分より、「聖書を学ぶ会」を開催しています。来月は5月6日(水)です。現在、土井かおる著『よくわかるキリスト教』(PHP研究所、2004年)をテキストとして用い、聖書、キリスト教の歴史、教理、ならびに現代における課題について学びを深めています。多くの方の参加を歓迎するとともに、この学びの時が、より豊かなものとして与えられることを願っています。

◇ 4月から、第2主日も愛餐会があります。どうぞご参加ください。

◇ 聖アンデレ教会広報のYouTubeチャンネル「今、福音に聴く」では、マタイによる福音書の最終回を配信しています。今回のメッセージは、当教会の卓志雄司祭がお届けします。次回はヨハネによる福音書を予定しております。どうぞ今しばらくお待ちください。ご視聴は [tps://www.youtube.com/watch?v=ehwlo2BnVz0](https://www.youtube.com/watch?v=ehwlo2BnVz0)

又は下のQRコードからお願いいたします。



広報チャンネル



Instagram



ホームページ



Facebook

聖アンデレ教会広報チャンネルでは、様々な情報を配信中です。また、フェイスブックページから折々の教会の様子やお知らせをお伝えしています。上のQRコードからご覧ください。

## 本日・今週の予定

4月5日(日) 復活日(A年)  
7時半 聖餐式  
10時半 聖餐式・洗礼式  
13時半 こどもとともにささげるイースター礼拝  
17時 夕の礼拝

- ・愛餐会
- ・こども礼拝後エッグハンティングなど
- ・15時 逝去記念の祈り(外部)

6日(月) 復活後月曜日 7時半礼拝  
使 2:14,22b-32 詩 16:8-11 マタ 28:9-15

7日(火) 復活後火曜日 7時半礼拝  
使 2:36-41 詩 33:18-22 ヨハ 20:11-18

卓司祭 在室(終日)

8日(水) 復活後水曜日 7時半礼拝  
使 3:1-10 詩 105:1-8 ルカ 24:13-35

9日(木) 復活後木曜日 7時半礼拝  
使 3:11-26 詩 8 ルカ 24:36-48

- ・13時半 葬送告別式

10日(金) 復活後金曜日 7時半礼拝  
使 4:1-12 詩 116:1-9 ヨハネ 21:1-14

卓司祭 在室(終日)

11日(土) 復活後土曜日 7時半礼拝  
使 4:13-21 詩 118:14-18 マルコ 16:9-15,20

- ・10時 洗礼の学び

12日(日) 復活節第2主日

7時半 聖餐式

9時15分 こどもとともにささげる礼拝

10時半 聖餐式 聖歌 160, 468, 48, 252, 184

使 2:14a,22-32 詩 16 I ペト 1:3-9 ヨハ 20:19-31

17時 夕の礼拝 聖歌 162

詩 111,112,113 イザ 43:8-13 I ヨハ 1:1-7

- ・礼拝後 愛餐会

### 今週のメッセージ

主イエス・キリストのご復活、おめでとうございます。

わたしたちは、イエスさまの輝かしい勝利や復活そのものだけを喜んでいるわけではありません。イエスさまの復活が、わたしたち一人ひとりと深く結びついているからこそ喜んでいるのです。イエスさまが復活されたことによって、主と結ばれているわたしたちにも復活の恵みが与えられました。それは「希望」という尊い賜物です。

旅行の際、長いトンネルを通り抜けることがあります。暗闇の中を進み、やがて光が見えてくると、新しい景色が広がり、新たな出会いが待っています。目的地にも一歩近づいたことを実感します。もしトンネルには必ず終わりがあり、その先に新しい世界が開けているという希望がなければ、わたしたちは不安や絶望に押しつぶされてしまうでしょう。

わたしたちの人生もまた、このような長いトンネルを進む歩みに似ています。生きていながら、暗く長いトンネルのような時を何度も経験します。とりわけ新型コロナウイルスの影響により、礼拝の中止や生活の制限が続いた日々は、まさに出口の見えないトンネルの中にいるようでした。予期しなかった苦しみや痛み、悲しみといった不条理に直面し、先が見えない不安に包まれることもあります。

さらに、人生の終わりには「死」というトンネルが待っています。それはとても長く、暗いもののように思えるかもしれません。

しかし、復活されたイエスさまは、そのようなわたしたちに語りかけておられます。「トンネルは長く感じられるかもしれない。しかし必ず終わりがあり、やがて光が見えてくる」と。また、「たとえ次のトンネルが待っていたとしても恐れることはない。その先には必ず出口があり、あなたを目指すべき場所へと導く光がある」と。

主イエス・キリストの復活を信じ、告白するわたしたちには、もはや恐れはありません。主の福音を信じる時、わたしたちには新しい希望が確かに与えられているからです。長く暗いトンネルの先に何があるのか、人間の知恵だけでは分からないこともあります。しかし、恐れる必要はありません。主は、終わりのないトンネルをわたしたちにお与えになることはなく、必ずその先に、わたしたちを良き目的地へと導く光を備えてくださっています。

復活されたイエスさまへの信仰とは、その希望の光が常に照らされていることを信じ続けることにほかなりません。

イエスさまはご自身の復活を通して、わたしたちに希望の福音を与えてくださいました。わたしたちも「心から」、主イエス・キリストの復活を喜び祝いましょう。

(司祭 卓 志雄)